

# 活動報告書

令和元年 7 月

岩城まちづくり協議会

## 1. 委員名簿

役職	氏名	所属（推薦）団体等	備考
会 長	佐々木 昭彦	最上町1町内会長	
副会長	早 川 あけみ	男女共同参画推進委員	
書 記	田 口 直 樹	学識経験者	
書 記	堀 井 良 子	道川婦人会	
委 員	渡 部 昭	滝俣自治会長	企画運営部会
委 員	前 川 政 治	鶴潟1区町内会長	
委 員	堀 井 光 昭	内道川自治会長	
委 員	高 橋 修	観光協会岩城支部	
委 員	山 崎 悦 子	商工会女性部	
委 員	土 田 信 夫	児童・民生委員協議会	
委 員	三 浦 春 美	岩城産直会	
委 員	鈴 木 とみ子	亀田婦人会	企画運営部会
委 員	堀 井 久仁子	市社会福祉協議会岩城支所	
委 員	佐々木 久	岩城小学校PTA	企画運営部会

委員数=14名

任 期=平成29年8月1日～令和元年7月31日

## 2. 開催概要

開催区分	開催年月日	会場	参加人数	協議内容
市要請	平成 29 年 8 月 30 日 (水)	総合支所会議室	13 名	委嘱状交付 他
自主	平成 29 年 9 月 27 日 (水)	総合支所会議室	5 名	企画運営部会
自主	平成 29 年 10 月 26 日 (木)	総合支所会議室	12 名	協議会の今後の進め方について
自主	平成 29 年 11 月 26 日 (水)	総合支所会議室	13 名	「空き家・空地の活用」について
自主	平成 29 年 12 月 21 日 (木)	総合支所会議室	4 名	臨時役員会
自主	平成 30 年 1 月 18 日 (木)	総合支所会議室	14 名	役員会経過報告
市要請	平成 30 年 3 月 20 日 (火)	総合支所会議室	10 名	協議会の協議内容について
自主	平成 30 年 6 月 19 日 (木)	総合支所会議室	13 名	協議案件の絞り込みについて
自主	平成 30 年 9 月 13 日 (木)	総合支所会議室	13 名	観光資源の洗い出しとマップ作成
自主	平成 30 年 11 月 20 日 (火)	総合支所会議室	8 名	観光資源洗い出マップの活用について
市要請	平成 31 年 3 月 13 日 (火)	岩城会館日本海の間	13 名	観光資源洗い出マップの内容精査について
自主	令和元年 6 月 4 日 (火)	総合支所会議室	12 名	マップ作成について
自主	令和元年 7 月 26 日 (金)	総合支所会議室	12 名	活動報告書の確認について

開催回数 = 13 回

参集延べ人数 = 142 人

通算協議時間 = 約 20 時間

### 3. 協議経過

#### ～2本のテーマを決め協議開始～

岩城まちづくり協議会は14名の委員で発足し、平成29年8月30日に第一回目の協議会が開催された。会長に佐々木昭彦委員、副会長に早川あけみ委員、書記に田口直樹、堀井良子両委員、企画運営部会委員には渡部昭、鈴木とみ子、佐々木久各委員がそれぞれ選任された。

その後、事前に各委員から徴収したアンケートをもとに企画運営部会を開催。「部会を置かず全体協議をもって進める」、「『空き家・空地等の活用』と『観光振興』の2本を協議テーマとする」旨が決定された。

当局からは当初、「協議会として自主的・自発的な取り組みをしてほしい」との意向が強く示されていたが、自主実践は困難であるとの判断から、当面は市に対して提言書を提出する方向性で協議していくことを確認した。

協議会は、まず『空き家・空地等の活用』についての協議に着手したが、協議の中で「空き家」の部分については法律的な縛りや補助事業導入による活用制限、個人所有物件に対する介入の難しさなど、様々な制約があることが判明。協議会のテーマとして取り上げるのは困難ではないかとの結論に至った。

#### ～協議の膠着と再アンケート～

協議会は正副会長と両書記による臨時役員会を開催。『空き家・空地等の活用』について空き家部分を除外し空地に絞って検討する方向とし、その後の協議会へ提案した。

概ねの方向性としては合意を得たものの、具体案は色々な角度の意見が各委員それぞれから百出。絞り込みが困難となって協議は膠着した。

併せて、「そもそも住民が望むものはなにか」との意見や、協議会自体の位置づけへの疑問も出され、協議が暗礁に乗り上げた形となった。

協議会は各委員に対して再度アンケートを実施、改めて「協議していく具体的内容」を決めることとした。各委員から出されたアンケートをもとに改めて協議を行うが絞り込みは困難を極め、任期の折り返し点を過ぎても協議テーマすら決まらない状態となった。

協議の中で、「テーマを観光のみに絞ったほうがよいのではないか」、「どんな観光資源があるか委員が共通認識をもつべきだ」との意見が出されたことから、そのための観光マップを作ってみてはどうか、ということになった。

## ～転換・マップ作成へ～

協議会は、地域に存在する観光資源の洗い出しと委員の共通理解のため、マップ作成を行うこととなった。「地域全図」と「航空写真」を台紙に各委員が観光資源を付箋で張り付けして掲載すべき観光資源をピックアップ、事務局の清書を経てマップとしてのたたき台が整った。

この後、今後のマップ作成の進め方や活用方法について協議する中で、「作成するマップを一つの成果品と捉え、これを協議会としての目標としてはどうか」「協議会でマップづくりを行うことで、予めから示されていた『自主実践』にも沿うことになるのでは」との方向となり、協議会活動の有り方は「地域課題の検討・協議」から「協議会としての観光マップ作成」に大きく舵を切ることとなった。

協議会として『観光資源マップ』を完成させるべく、各観光施設や神社仏閣などの基礎資料を調査・確認しながら協議を行ったが、主軸とすべき観光施設の選定や多様なコース設定の提案など、各委員から出される多くの意見を調整・擦り合わせることはやはり困難であり、従前同様に協議は難航した。

協議の中で、「マップの最終的なフォーマットが決まれば自ずと取り込むべき情報が見えてくるのではないか」との観点から、それぞれが考えるマップフォーマット及びピックアップすべきコース設定などを各委員が提出することとした。

## ～マップ案出揃う～

令和元年6月4日に年度第一回目の協議会が開催され、8名の委員から各自が考えるマップ案やコース設定が提案された。

提出委員はこのとき、各自が実際に作ったマップ案の現物を会議に持ち寄り、このことが協議会全体としてマップ作成のイメージを大きく膨らませることにつながった。

提案されたマップは、折りたたみ方などを工夫しレイアウトに優れたものや、冊子形式で内容を充実させたものなど、各委員が努力されたことが伺えるものが多く、また、QRコードの導入や「神社仏閣を軸にしたコース設定」など、これまでの協議をしっかりと踏まえそれらを活かした提案も多く出された。

当初、これらの良い部分を取り込みながら一つの「プロトタイプ」的なものを作り上げるイメージで進めてきたところもあったが、このとき提案されたもの全てが素晴らしく、どれも捨て難いという印象は、各委員が同様に抱いたものと思われる。

これらの提案を前に、議論は協議会としての最終的なゴールをどこにするかに波及した。

提案されたマップを一本化する場合、『マップ作成』自体を提言するか「報告書への添付とするか」、「一本化しない場合、成果品といえるのか」、「単にこのままで報告になり得るのか」などの意見のなか、「今回の提案を全て添付する形での報告書提出」とすることを確認した。

## 4. まとめと報告

岩城まちづくり協議会（第三期）は発足以来様々な協議を重ねてきたが、当初は協議テーマがなかなか定まらないなど厳しい状態が続き、委員一人ひとりも大変苦しい思いで協議を続けてきたところである。

途中での大きな方向転換も経ながら「観光振興」についての協議を深めつつマップ作成に取り組んできたが、最終的には各委員から多くのマップ等が提案され、これらによりマップ作成にあたっての多くのヒントや方向性が提示されたものと考えられる。

これまでの活動の経緯を鑑みるに、この度各委員から提案されたマップ等の一つ一つが正に本協議会としての成果品であり、委員それぞれの苦悩の結晶である。

7月いっぱいでの任期終了にあたり、各委員から提案され出揃った数々のマップを提出し、これをもって本協議会の活動報告とする。

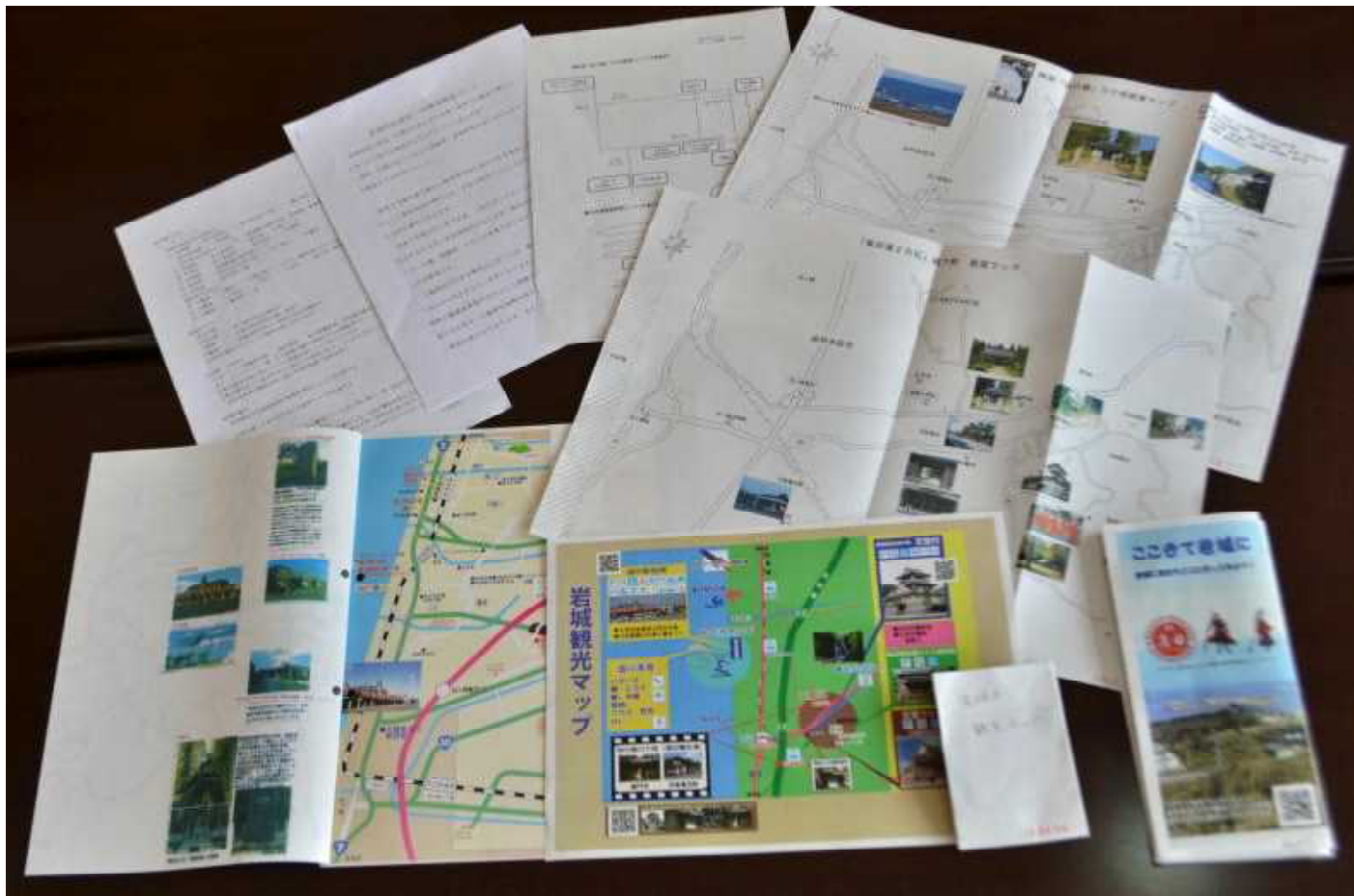
なお、これまでの活動から導き出された観光マップの在り方を、ひとつの結論として以下のとおり付記する。

- ①マップは手に持った利用が前提であり、物理的な「マップとしての携帯性」を有する形態でなければならず、一目で伝わる「判りやすさ」を保持しなければならない。
- ②一方で、利用者に詳細な情報を伝える必要を併せ持っており、利用者それぞれの興味に伴って求められる多くの情報を伝えられることが望ましい。
- ③上記を踏まえると「QRコード」などの導入・活用は極めて有効であり、マップ作成にあたってこれらの活用を検討すべきである。また、観光地等の案内看板などにも併せてQRコードの導入を進めることで、将来的に広がりのある観光案内につながる可能性を秘めている。

以 上

岩城まちづくり協議会  
委員提案資料リスト

NO	資料概要	内 容	提案委員
1	「岩城ガイド」	冊子形式で各種資料を提示。マップと併せて交通網や詳細情報が確認できる。マップと各所の説明を見開きで対比させることができる。QR コードも記載。	渡 部 昭
2	「岩城観光マップ」	主軸となる観光施設等のみを表示。QR コードを記載することでマップ上での説明表記を省略しながら、スマホ等の活用により詳細かつ最新の情報が入手可能である。	高 橋 修
3	「散策マップ」	「亀田2万石城下町」と「映画『砂の器』ロケ地」の2ルートを別葉にまとめそれぞれ作成。マップ上に写真表示をし、より興味を持たせる構成にしている。	佐々木 昭 彦
4	「目的別コース設定」	「通年観光」と「時期的観光」に目的を大分しながら、“ウオーキング”、“施設巡り”などのコースを設定。マップエリアとしては『旧藩地内』を広範に取り込んでいる。	土 田 信 夫
5	「岩城の観光マップ」	A 3 版全面にマップを表示しながら、その裏面を 16 分割して施設等の説明を表示。1 / 1 6 に折りたたむことでポケットマップとしての活用が可能。マップが暖かい“手書きイラスト”であるも特筆すべき。	三 浦 春 美
6	「ここきて岩城に」	道川・亀田・松ヶ崎の三地区ごとに区分したマップと、施設説明等を表示し、QR コードも記載。「A 4」2 枚分の長さを蛇腹 6 つ折りとし、マップの持ち歩きを想定した構成の工夫と完成度の高さは特筆。	佐々木 久
7	「散策コース設定」	「映画『砂の器』ロケ地」と「日本海眺望」の 2 コースを設定。移動想定時間の表示でマップの利便性を高めることを提案している。	堀 井 光 昭
8	「神社仏閣等周遊コース」	自動車での移動を想定しながら、神社・仏閣を軸とした周辺観光を提案。周遊エリアを敢えて地域の北側半分に絞ることで、周遊のイメージが判りやすく提示されている。	堀 井 良 子



【提案のあったマップ等～全件】



①「岩城ガイド」  
渡部 昭 委員



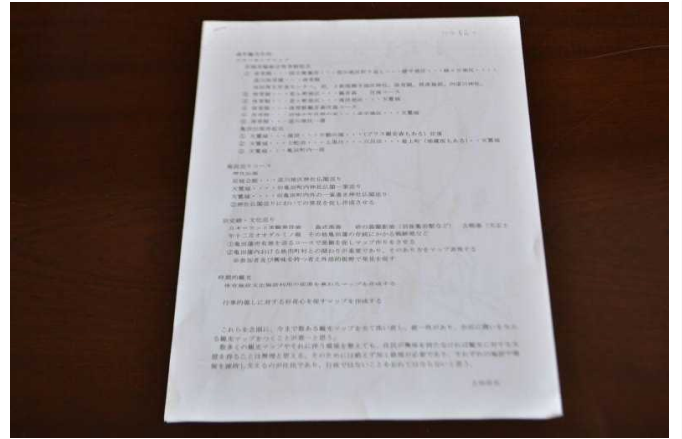
②「岩城観光マップ」  
高橋 修 委員





### ③ 「散策マップ」

佐々木 昭彦 委員



### ④ 「目的別コース設定」

土田 信夫 委員



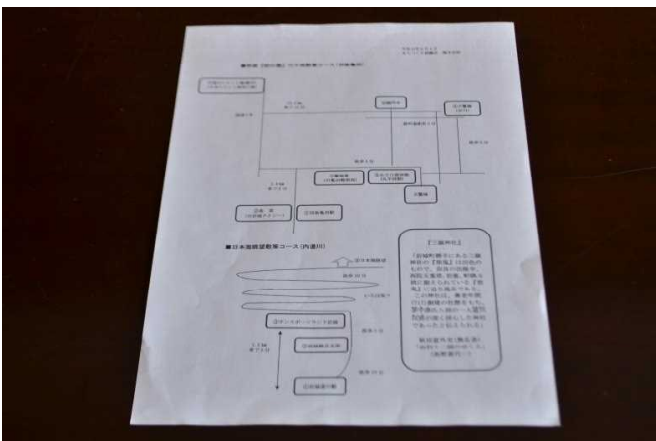
### ⑤ 「岩城の観光マップ」

三浦 春美 委員



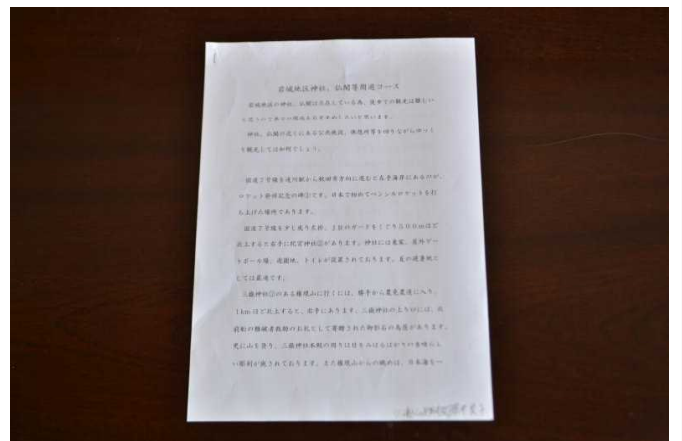
### ⑥ 「ここきて岩城に」

佐々木 久 委員



### ⑦ 「散策コース設定」

堀井 光昭 委員



### ⑧ 「神社仏閣等周遊コース」

堀井 良子 委員